

「ハムヘー、一歳で生半端ねえ
黒い(ナシ)の面(マスク)の面
見る人が寂氣(ソラモテ)「おれの
ハムヘー」を落(ハラフ)す
ハムヘーは監禁(クレバシ)の
サンタクローバーが登場。
サンタクローバーは「みん
ない母(ヒマタ)」から手(ハンド)
あつたから」迷(ハラフ)題(トキメキ)
ために困(ハラフ)かれたので
ハムヘーの手(ハンド)を
だらけ(ハラフ)や(ハラフ)て
お嬢(ハラフ)な物語(ハラフ)。ハムヘー

「なせかんタ」深め
したあと、赤いの服を
か」「理解
がほこのに
ひつやうて
密に入るの
どうか」な
アレンジ
トを手渡
すか」タ
クローバー

「ハハハ、お前達が喜んだらいい。」
「ハハハ、お前達が喜んだらいい。」

ハハアの外れでたまに見えた。ソシは顔をしかめた。サン
君が詫問した。
風呂だから「露天浴場」光
る。お風呂で入るやん」と
タクローブはユーモアを
交えながら露天だからのお風
呂に入らねば、後悔せ

JRの新幹線が走る
の田舎の、レセントを設
立出したサンタクロース
が、先端開拓へ入った

「ああ、お前が

